

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

「グループ対抗里山デジカメ選手権」入選作品決定！  
～ご応募ありがとうございました～

里山の再生・整備活動や森林環境教育に主眼をおき、「身近な森林(もり)の再発見」をテーマとして、学校、森林ボランティア、企業、家族などグループを対象に3枚の組写真を募集し、最終審査に進んだ30組を対象に、平成19年11月3日(土)、滋賀県大津市内で公開審査会(審査委員:写真家 今森光彦氏、フリーアナウンサー 青山佳世氏、日尾野興一近畿中国森林管理局長)を開催し、入選作品を決定しました。  
なお、最優秀賞(林野庁長官賞)1点、優秀賞(近畿中国森林管理局長賞)8点は裏面のとおりです。



大人を対象とした森林環境教育プログラム骨子固まる  
～第8回森林環境教育プログラム等検討委員会を開催～



10月26日(金)、第8回検討委員会(委員長:谷口文章甲南大学教授)を近畿中国森林管理局で開催しました。  
今回の検討委員会では、9月中旬に、大人を対象としたプログラムの基礎資料とするため実施した、京都市京北地域におけるモデルプログラムの実践結果の報告を行ったほか、プログラム冊子の骨子や原稿作成スケジュールを確認しました。  
現在、各委員等による原稿執筆作業に入り、今年度中に大人を対象としたプログラムを作成することとしています。

新たに森林の仲間達が巣立ちました！  
～森林ボランティア養成スクール終了～

10月28日(日)に「里山を見に行きましょう！」と題して、里山整備の先進地である兵庫県一庫ダム周辺の見学を行い、11月25日(日)には、「森林を楽しみましょう！」と題して、(独)森林総合研究所関西支所の石田清氏による植物観察の実習の後、9月に自分たちで伐採した間伐材等を活用した木工クラブを行いました。  
スクール生からは、「初めて森林にふれあったような気がする。もっと森林のことをたくさん知りたい」、「これから森林ボランティアとして積極的に取り組んでいきたい」などの感想が聞かれました。  
7月から毎月実施してきた森林ボランティア養成スクールも今回で最後となり、本田所長から修了証を受け取ったスクール生は、笑顔で森林の仲間として巣立っていきました。  
今後は、当センター等が行う森林づくり活動に参加していただくことをお願いしてスクールを修了しました。



林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター  
TEL:075-414-9049 / FAX:075-414-9029 URL:<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp>  
〒602-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル 京都農林水産総合庁舎1F



◎最優秀賞（林野庁長官賞）

「小さな命」 広島県立庄原格致高等学校



◎優秀賞（近畿中国森林管理局長賞）

◆ 学校関係部門 ◆

「小さな自然」暮らしの学校  
だいだらぼっち Nature



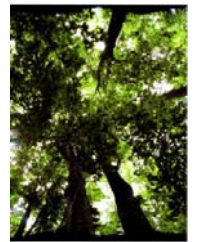
「鞍馬のかわいい花や生き物」  
鞍馬自然環境守ルンジャー

◆ 一般部門 ◆

「ボクたちの宝探し」  
わんぱく隊



「森の巨人」  
親子三世代



「森に思う 共生（あそぶ）（のぼる）（もり）」  
やまさき老人大学カメラクラブ



◆ 森林ボランティア部門 ◆

「カワウの棲みつかない森づくり（地拵え）」  
NPO 法人ヒマラヤン・グリーン・クラブ



「親父・再生」  
NPO 法人グリーンウッドチーム

「作業風景」  
京都森林作業体験セミナー



詳しくは、当ふれあいセンターホームページで紹介しております。